



The service club to the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF**  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2018年8月会報

第358号

**主 題 ・ 標 語**

国際会長(IP) Moon Sang-Bong(韓国)  
 主 題: Yes, we can change 「私達は変えられる」  
 スローガン 'Courage to challenger'

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之  
 主 題: 'Action' 「アクション」

西日本区理事(RD) 遠藤 道寛(大阪泉北)  
 主 題: 「未来に残すべきものを守り育てる」  
 Let's Protect and Culivate What Should Be Pssed on to the Future.  
 副 題: 「めぐり逢う一筋の光」  
 Seek Your Encounter with a Ray of Light

六甲部部长 大田厚三郎 (神戸西)  
 「六甲部は、一つの体。ともに助け合い、部全体の発展向上をはかろう。」

宝塚クラブ会長 青柳美知子  
 主 題: 「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！」

今月のテーマ : Youth Activities

そして、彼はそこをたち、父親のもとに行った。ところが、まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。(ルカ 15 章 20 節)

2018年8月さんだ、宝塚合同納涼例会

日 時 : 2018年8月4日(土)18:00

場 所 : 三田市 興聖寺

登録費 : 2,000円、

ドライバー 堀江裕一 石田由美子

開会点鐘 青柳美知子会長(宝塚クラブ)

ワイズソング 全 員

聖書朗読 鯖尻佳子

祈 禱 多胡葉子

ゲスト・ビジター紹介 各クラブ会長

晩 餐

閉会点鐘 安行英文会長(さんだクラブ)

ゲスト

中国琵琶演奏 葉 衛陽 氏

三田市花火大会 観賞

2018/19 役 員	会 長 青柳美知子 副会長 福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 杉谷和代 交 流・ファンド 石田由美子 広 報(ブリテン) (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 小林康男 バザー 長尾 亘 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	多胡葉子(2日) 森田紀子(4日)
7 月 実 績	例会出席者数 21名 在籍会員数 23名 出席会員数 17名 出席率 80.9% メイクアップ(内数) 1名 メネット 0名 コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター 4名 例会充足率 91.3% BFポイント 7月 4,900円 累 計 4,900円 にこにこBOX 7月 7,000円 累 計 7,000円 ファンド(物品販売) 3,000円 累 計 3000円

## 会長のことば

私の 30 年間のワイズ生活は「交流の楽しさ」で始まり、ずーっとそれで支えられてきた。そして私の人生の大きな糧となったと思う。

宝塚クラブがチャーターした 1988 年に、YMCA やワイズメンズクラブについてまだ何も知らない状態の私共の家に、京都の世界大会に来られたデンマークとノールウェーからの二人の方々をホームステイとして受け入れたり、1992年のオスローの世界大会で知り合った台湾の劉さん一家、スリランカのエリサベツ等と一度に私達の生活が世界に広がった。宝塚クラブや、六甲部の活動の中で長年味わってきたワクワク感も今も続いている。

これはこの度の西日本区大会でグッとちじまった六甲部の仲間意識や、沢山の方と出会えた感動でもっと大きなものとなった。このワクワク感を皆様と分かち合いたいです！

青柳美知子

## 7月第1例会報告

7月11日(水)18時30分武田直前会の開会点鐘では7月例会が始まりました。7月例会はキックオフ例会で役員引継式が行われ、晚餐の後宝塚クラブは総会をして新年度活動方針と決算報告、予算審議を行い、誕生祝い、YMCA ニュースを聞いて最後は今期の青柳会長の初めての閉会点鐘で7月例会が終わりました。

### 【役員】

会長 青柳美知子

やさしさと笑いで、幸せクラブ作りその中に新しい仲間



副会長・福田宏子



書記・若林成幸



会計・吉田 明・堀江裕一



会計監査・加藤光信



### 【事業委員長】

○YMCAサービス・ユース事業委員長・福田宏子  
神戸 YMCA の活動理解・ユース支援



○地域奉仕・環境委員委員長・多胡葉子  
宝塚地域への奉仕活動の継続 CS・FF・TOF・RBM  
献金内容の理解と献金達成



○EMC 事業委員長・杉谷和代  
明るい、楽しい例会運営、プログラムの充実と会員出席率の向上、積極的なゲスト紹介活動  
目標新入会員 3 名



○国際・交流事業委員長・石田由美子  
楽しくなければワイズじゃない



- ブリテン(広報)、HP 事業委員長・長尾 亘  
クラブの知名度を高める、ブリテンに新たに DBC コーナーを作り  
情報交換を密にする



- メネット事業委員長・多胡葉子(代理)  
交流の輪を大切にワイズ活動をサポートする

#### 【各特別委員会】

- NGO 連絡協議会事業委員長・鯖尻佳子  
宝塚市国際交流協会、NGO 団体の連絡協議会に参加し活動内容を知るとともにワイズ活動の紹介をする



- じゃがいも事業委員長・小林康男  
販売を通してワイズ活動を  
アピール収入予算20万円達成



- チャリティーミニバザー事業委員長・長尾 亘  
新たな協賛企業を検討する。



- 市民クリスマス事業委員長・若林成幸  
市民参加型、継続事業の位置づけを確立



## 7月第2例会報告

7月18日(水)18:30から宝塚市立西公民館にて7月第2例会を行った。出席者は、青柳会長、長尾、堀江、吉田、小林、多胡、石田、鯖尻、今田、若林各メン。この日は六甲部の Y サ事業委員会・チャリラン実行委員会が重なり福田宏子メン、武田メンがそれぞれの委員会に参加した。議事要旨は次の通り。

### 1. 8月4日(土)合同納涼例会

さんだクラブとの合同例会「音楽と花火の夕べ」を行う。会場は、興聖寺(住職:安行会長)。18時開会、例会セレモニー、会食、中国琵琶の演奏、花火鑑賞と盛りだくさんのプログラムが準備されている。

会費 2000 円、申込みは多胡メンまで。

### 2. 8月8日(水)ご苦労さん会

武田直前会長・西日本区大会のご苦労さん会として宝塚ホテル ゴールドの間で行う。18時開会、会費5,000円、申込みは多胡メンまで。

### 3. 9月～10月例会プログラム

既報の通り、素晴らしいゲストスピーカーを迎える。9月12日は、平林克敏氏「エベレスト登頂から50年～タイムカプセルの思い出」。10月10日は、沼野尚美氏「心にふれる人との関わり」。チラシを作成してPRを行う。

### 4. 宝塚の DBC の現状と対応について

鹿児島クラブとの DBC 締結を終えたばかりだが、他の既締結クラブの現実を踏まえ今後の進め方を協議した。

岩国クラブは6月30日でクラブは解散、ほとんどの会員が岩国みなみクラブへ移籍。結果、DBCは解消した。東京まちだクラブは東京コスモスクラブと合併し、東京まちだコスモスクラブとして新発足。まちだクラブとの DBC 締結が継続されるのか、新たな締結が必要なのか。宝塚として良い関係を継続したい。

石田交流担当から関係者に照会する。さらに、

## 六甲部第1回評議会

所沢クラブ(渋谷会長)との間でDBCの動きがあり、先方の意志決定を待つ。なお、ブリテンで「DBCコーナー」を設け情報交換を促進することになった。関係者の情報提供をよろしく。

5. 8月5日(日)自立の家 夏祭り  
自立の家の夏祭りに有志がフラ・ウクレレバンドで参加する。
6. 8月11日(土)宝塚花火大会復活のためのギネスキャンペーン「世界一長い線香花火」への参加要請があったが、行事が連続するため、この件は不参加とした。
7. 各部会への対応  
9月～10月に各部会が集中して開催される。六甲部会は9月22日(土)。参加者の集約は石田メンが行う。
8. ジャガイモ販売計画について  
ジャガイモ購入に関しては長尾メンが十勝クラブと折衝する。計画的な配送を行うため、昨年度の購入者実績を参考に購入見込者リストを作成することになった。8月末を目処に小林メンが集約。趣旨を理解し協力をよろしく。
9. 再入会希望者  
元会員の辻 建牧師から再入会の申し出があった。遠方にお住まいであり、また、健康面でも若干の不安があるため毎例会の参加は難しく、広義会員として復帰の道を選択された。先生の強い思いを理解し、一同、大歓迎の意を表明。近々、長尾・石田メンの訪問予定があるので詳細を打ち合わせて貰うことにした。
10. ブリテン編集  
長尾メンからブリテン8月号の編集方針・日程の説明があり、寄稿者などを確認して進める。原稿締切りは7月25日。

若林成幸

7月21日(土)神戸YMCAで六甲部2018年～19年度大田厚三郎部長の第1回評議会が開催されました。大田六甲部部長の開会点鐘、挨拶そして活動方針は、会員数の拡大、会員数の少ないクラブの支援し底上げをはかる。新クラブを創設するための計画を作成。そして神戸YMCAと共に、協力、協働、共に前進・発展と説明が有りました。引き続き各事業主査と会長の方針説明が有り、宝塚クラブからは国際・交流主査に武田ワイズ、青柳会長が前で説明しました。続いて会計監査報告と予算の承認を受けました。今年



は協議議案が2件あり1件は瀬戸山陰部を六甲部に編入することについて「(仮称)検討委員会」を設立する件、2件目は国際・交流事業主査補佐を廃止する件が審議され全員一致で賛成が可決されました。その後が場所をグリー



ーンホテルに移して懇親会が持たれ瀬戸山陰部から来られた部長、会長と親しい親睦がもたれ終わりました。



長尾 亘



第21回西日本区大会  
実行委員会コーナー  
最終編評価会

した、本当に最後の最後の実行委員会はみんなの  
ハッピーな笑顔で幕を下ろしました。お疲れ様！

西日本区大会実行委員長 石田 由美子



今回の神戸大会は終わりましたが会計処理や各  
委員会、全体の評価のための会を

2018年7月23日(月)、17時30分から開催。会場  
はお世話になった ANA クラウンプラザホテル神戸、  
4階カジュアルダイニング「ザ・テラス」のプライベ  
ートルームです。大会前の緊張感に代わって、みん  
なリラックス感満載の中で、いつも通り鵜丹谷剛  
ワイズの進行により若林成幸会計委員長からの会計  
報告から始まりまし

た。  
参加者775名、フェ  
ローシップアワーに  
は当日飛込参加も  
含めて145名になり、  
座る場所がなかつ  
たと言う声も今にな  
ってなるほどと思う  
盛況ぶりが  
分かりました。

続いて各小委員会委員長からの報告があり、反省  
点多々ありますが、  
総じて“六甲部のパ  
ワーが出せた、1つ  
になれた、楽しかつ  
た”などの声が大  
半でした。

ぴったり90分  
で評価会を終えてご  
苦労さん会に！大  
会本番前から、  
打ち上げは盛大に  
やろう！との思い  
がやっと実現



IBC/DBC コーナー

この度、先月の西日本区大会におきまして、宝  
塚クラブとDBC 締結をさせていただき、嬉しい気持  
ちと感謝の気持ちでいっぱいです。その場にいれ  
なかったのは非常に残念でしたが、今後、素敵な  
交流ができればと願っています。よろしくお願  
い致します。

鹿児島クラブは現在会員14名です。けっして若  
いとは言えませんが、主な活動としては、チャリ  
ーティラン、チアダンスなどYMCAの活動を全力で  
サポートさせて頂いております。また、例会は、年  
の半分ぐらい卓話をしております。最近では、健康  
や福祉をテーマにした卓話が多いです。少数なが  
らも毎月の例会、和気あいあいと楽しい時間をビ  
ジター、ゲストとともに過ごさせて頂いております。  
これを機に、是非鹿児島クラブにも遊びに来て頂  
ければと思っています。まだ先の話ではありますが、  
鹿児島クラブは再来年30周年を迎えます。同時  
にYMCAは10周年を迎えます。今期から準備委  
員会を設置しまして準備を進めていきたいと思っ  
ています。

今後とも末永い交流をさせて頂ければと思っ  
ておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

鹿児島ワイズメンズクラブ 会長 松永英明

濱田ヒストリアン/西日本区、田中アジア会長/東  
日本区に念の為に確認致しました。お考えの様に、  
「合併しました東京まちだコスモスクラブが全てを  
継承致しますので新たなDBC 締結は必要無し」と  
の見解です。楽しい、有意義な交流をお続け下さ

い。宜しく願い申し上げます。引き続き宜しくご支援・ご指導の程、お願い申し上げます。

YMCA だより



ワイズメンズクラブ国際協会  
(2018-19)西日本区 国際・交流事業主任  
(2018-20)ASD-BF PROMOTION、EF、IBC  
中井 信一 (奈良クラブ)

## 【今月のみ言葉】

今回取り上げたのは、有名な放蕩息子の譬え話のクライマックスのシーンです。若くして父親から財産を譲ってもらい、そそくさと異国の地へと旅立っていった弟息子。そして彼は、放蕩の限りを尽くして財産を使い果たしてしまい、ついにはどうしようもなくなって父のもとに帰ってきます。しかしこの父親は、変わり果てた姿で帰って来た息子をまったく咎めることなく、受け入れようとするのです。

ここで特に注目したいのは、帰ってきた息子の姿を認めた父親が息子のもとへと自ら走り寄っていったという描写です。当時のユダヤ社会では、一家の家長である父親は威厳のある存在であり、その父親が人前で走り出すなどということはありません。それゆえ、このイエスの譬えを聞いていた聴衆は、まったく思いもよらぬ話の展開に驚き、思わず笑い出したかもしれません。しかし、父親が走り出したというこの異常な描写の背後には大切な意味が隠されているように思います。すなわち、この譬えは、放蕩息子が帰って来たことに気づいて走り出したという非現実的な父親の姿を描き出すことを通して、自らの罪を悔い改めて神のもとに帰ってきた人間を、想像を絶するような寛大さで自ら歩みより、迎え入れようとする恵み深い神の存在を指し示そうとしています。まさに聖書が示す神は、しばしば神に逆らって歩んでいこうとする私たち人間を、限りない愛情をもって受け入れようとする存在なのです。

夏本番、保育園では日中、水遊び以外は外に出ることもままならないほどの暑さではありますが、子どもたちは、プールなど水に親しむ活動でも、室内での活動でも、夏ならではの育ちの場を経験しています。

7月は「判断する」ことの難しさ、「緊急対応」の準備の大切さをしみじみと感じた1月でした。保育園は福祉の場であることから警報時でも開園をするよう求められています。災害に直結するような場合どこまで受け入れをしていくのか、自宅待機を学校のようにお願いすべきかなどのことから、大雨の翌週の六甲山キャンプでは、やはり保護者の心配の声も上がり実施や内容についてどうすべきかなどに悩まされ、そして異常気象ともいえる猛暑の中、子どもたちの経験や育ちも大事にしつつ、体調管理をどこまでしていくのかなど、常に「最悪」と「最善」を考えてきたような気がします。

現場でも「昨年度はこうしたから」「前はこうだった」「周りはどうしている」など前例で物事を考えることが多いのですが、こんな状況ではなかなかそうもいきません。この50年前と比べ7月の平均気温はおよそ10度も変わっている今、その時に適ったように考えることが必要です。

今教育界では「21世紀型能力」の獲得をどのように進めていくか盛んに研究と討議がなされ、大きな変革がなされようとしています。21世紀型能力というのは「生きる力」といわれるもので、具体的なものをあげれば未知の問題を考えるための「思考力」や多様性を理解しつつ他者と対話を通じた問題解決するための「実践力」があげられます。そのため、例えば高校ではアクティブラーニングといって経験を通じた他者との対話の中で学んでいく手法が用いられるようになったり、入試制度も知識を単に問うだけでなくより実践的な問いに答えるような形式に変更がなされたりと、徐々に変化が進んでいます。

ただYMCAは社会に先駆けて教育的キャンプを100年も前から始めたり、様々な活動でも単に技能を伸ばすだけでなく活動の中で対話や小グループでのかかわりを大切にしつつ、経験を豊かなものにするように関わってきました。そしてその流れを汲んで今もキャンプや日常の活動から保育園や幼稚園まで主体的な育ちを大切にしてきました。

災害、少子高齢化などこれまで経験したことのないような状況の中で、YMCAは「ポジティブネット」のある豊かな社会を創るために、この夏も歩んでまいりますので、皆様のご支援よろしく申し上げます。

#### 1. 西日本豪雨災害募金

西日本を襲った記録的豪雨は12府県にまたがり死者170人、行方不明者も未だ80人以上、多くの地域で土砂崩れなど生活道路が通行止めとなり、2万人以上が孤立状態にあります(7/11現在)。生活の復旧には長期化が見込まれており、非常に厳しい状況です。

YMCAは被災地でのボランティアワークなどの支援にとどまらず、中長期的な視野に立って人々の困難に息長く寄り添います。コミュニティの復興支援を目指し、全国のネットワークや特性を生かした活動を展開していきます。

募金は

- ・近隣YMCAでの募金
- ・三井住友銀行三宮支店(普通)3136953

神戸YMCA への振り込み(振込人氏名の前に「ヨ」と明記お願いします)

- ・寄付サイトでの募金(<https://kifu-kobeymca.org>)  
で受け付けています。

#### 2. ラオスワークキャンプについて

先般、ご案内と支援依頼を行っていた、神戸YMCAの新たな試みである「ラオスワークキャンプ」ですが、5名の参加者のうち2名がYMCAやワイズからの推薦者で支援対象となりました。すでに承認いただいていますようにこの2名分の支援をしていただくことになったことご報告します。

キャンプは8/19～26で実施します。終了後にはまた皆様にキャンプのご報告をさせていただきます。

#### 【年会費納入のお願い】

2018/19年度前期分(18年7月～12月)

金額 20,000円(青年会費は10,000円)

(振込みの場合は下記へ)

三菱UFJ銀行 宝塚中山支店

普通預金 NO4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ

(会計・吉田)





## 宝塚ワイズメンズクラブ 2018年9月～10月例会

スピーカーのご紹介と例会ご参加へのお誘い

### 9月例会

日時 9月12日(水)午後6:30～  
場所 宝塚ホテルゴールドの間  
スピーカー 平林 克敏氏  
演題 「エベレスト登頂から50年」  
～タイムカプセルの思い出～

(平林 克敏 :プロフィール)

長野県生まれ。同志社大学卒業。関西電力入社。  
60年日本ダンロップに転職。  
住友ゴム工業(株)専務取締役を経て、  
住友ゴム欧州会社代表取締役社長兼会長。  
住友ゴム工業顧問就任。ダンロップスポーツ(株)  
代表取締役会長を歴任。  
現在、認定NPO 法人コアネット代表理事



### 10月例会

日時 10月10日(水)午後6:30～  
場所 宝塚ホテルゴールドの間  
スピーカー 沼野 尚美氏  
演題 「心にふれる人との関わり」

(沼野尚美:プロフィール)

大阪市生まれ。武庫川女子大学薬学部卒業。  
神戸ルーテル神学校修士課程修了。  
米国ゴンザガ大学宗教学部宣教コース修了。  
ケンシントン大学大学院で心理学・カウンセリングを専攻。  
チャプレンとして淀川キリスト教病院、  
神戸海星病院、姫路聖マリア病院などの勤務を経て  
現在宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン&カウンセラー



申し込み先 会長 青柳 美知子  
携 帯 090-2193-8301  
E-mail pi4m-aoyg@asahi-net.or.jp

例会参加費 3,500円  
(講演・食事・懇親 含む)